貸 借 対 照 表

かわさき市民放送株式会社

2019年 3月31日現在

（単位:円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	104,502,967	【流動負債】	9,118,576
現金・預金	95,660,530	未払金	4,139,708
売掛金	7,762,324	未払法人税等	1,748,200
前払費用	1,103,113	未払消費税	1,251,100
貸倒引当金	△23,000	未払費用	377,609
【固定資産】	65,832,202	預り金	519,799
【有形固定資産】	2,823,900	前受金	1,082,160
建物付属設備	1,330,513	【固定負債】	6,450,000
機械装置	1,482,575	退職給付引当金	6,450,000
工具器具備品	10,812	負債の部合計	15,568,576
【無形固定資産】	1,092,084	純資産の部	
電話加入権	477,600	【株主資本】	154,766,593
ソフトウェア	614,484	資本金	140,000,000
【投資その他の資産】	61,916,218	利益剰余金	14,766,593
投資有価証券	50,000,100	その他利益剰余金	14,766,593
出資金	150,000	繰越利益剰余金	14,766,593
敷金	9,479,118	（うち当期純利益）	(6,203,379)
繰延税金資産	2,287,000	純資産の部合計	154,766,593
資産の部合計	170,335,169	負債及び純資産の部合計	170,335,169

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券　　償却原価法による原価法を採用しています。

出資金　　移動平均法による原価法を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しています。

② 無形固定資産

定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

貸倒損失に備えるため一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収不能見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

退職給与規程に基づく自己都合による期末要支給額相当額を計上しております。

(4) 税効果会計

① 法人税、住民税及び事業税について税効果会計を適用しており、繰延税金資産の計算で適用した実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりです。

2019年4月1日以降　　29.74%

② 繰延税金資産の発生原因別の主な内訳

繰延税金資産

退職給付引当金	1,918,000 円
貸倒引当金	6,000 円
一括償却資産	116,000 円
貯蔵品	54,000 円
未払事業税	193,000 円
繰延税金資産　合計	2,287,000 円

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

なお、未経過リース料総額は、　3,776　千円(消費税抜)であります。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表に関する注記

(1) 減価償却累計額

建物付属設備	33,856,547 円
機械装置	9,168,298 円
工具器具備品	5,541,210 円

(2) 支配株主に対する金銭債権・債務　　（単位:円）

支配株主名	区分	短期債権	短期債務
	科目	売掛金	未払金
川崎市		3,944,383	6,048

(3) リース取引関係

貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している下記の資産があります。

・発電機、送排風機
・CS受信設備CS受信アンテナ・アンテナ架台・同軸ケーブル・CS/BSブースター他
・デジタルビジネスフォン
・コピー複合機

(4) 有形固定資産のうち、直接減額方式による圧縮記帳額は、次のとおりであります。

建物付属設備	16,250,300 円
機械装置	11,749,700 円

一株あたり情報に関する注記

(1) 一株あたり純資産額　　55,471円89銭
(2) 一株あたり当期純利益金額　　2,223円43銭